

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

龍ヶ崎市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

茨城県龍ヶ崎市

3 地域再生計画の区域

茨城県龍ヶ崎市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は 2010 年の 80,334 人をピークに減少しており、国勢調査の結果によると 2020 年には 76,420 人まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると、2045 年には総人口が 55,597 人となる見込みである。

年齢 3 区分別の人口動態をみると、年少人口は 2020 年に 8,264 人であるが、2045 年には 4,683 人に大きく減少する一方、老年人口は 2020 年の 22,113 人から 2045 年には 24,631 人と増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。また、生産年齢人口も 2020 年に 44,619 人であるが、2045 年には 26,283 人となり、生産年齢人口と老年人口の比がほぼ 1 対 1 に近づく予測となっており、まちの活力の低下が大きく懸念されている。

本市の自然動態をみると、出生数は 1996 年の 740 人をピークに減少し、2020 年には 373 人であり、大幅な減少となっている。その一方で、死亡数は同年には 765 人と増加の一途をたどっており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲392 人の自然減となっている。

社会動態をみると、出生数のピークを迎えた 1996 年には、市内のニュータウン開発等の影響もあり、転入者（4,822 人）が転出者（3,098 人）を大きく上回る社会増（1,724 人）であった。しかし、ニュータウン開発が一段落した 2010 年代には、転入と転出の数が拮抗する状況となり、2020 年には▲34 人の若干の社会減となっている。このように、本市における人口の減少は出生数の大幅な減少（自然減）や、

転入者の減少（社会減）等が原因と考えられる。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退等、住民生活への様々な影響が懸念される。

これらの課題に対応するため、本市においては、結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現を図り自然増につなげる。また、移住を促進するとともに、まちのにぎわいを創出し、安定した雇用の創出や地域を守り活性化するまちづくり等を通じて、社会減に歯止めをかける。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ目標の達成を図る。

- ・基本目標 1 龍ヶ崎を支える産業を応援し、安心して働けるまちづくり
- ・基本目標 2 龍ヶ崎のにぎわいを生み、住みたい・行きたいまちづくり
- ・基本目標 3 龍ヶ崎で結婚し、子どもを産み、育てたくなるまちづくり
- ・基本目標 4 龍ヶ崎に人が集い、安心して暮らせるまちづくり
- ・横断的な目標 1 龍ヶ崎で多様な人々が活躍するまちづくり
- ・横断的な目標 2 龍ヶ崎で新しい時代の流れを力にするまちづくり

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	商店街への支援や商業の活性化への満足度	20.1%	27.2%	基本目標 1
ア	農業の振興への満足度	15.9%	20.7%	基本目標 1
ア	市の物足りないところ、嫌いなところとして「活気とにぎわいが無い」と回答した割合	26.8%	22.2%	基本目標 1
ア	就労支援や企業誘致など雇用の創出への満足度	9.8%	12.3%	基本目標 1
ア	創業スクール受講者の 5 年	22.4%	23.9%	基本目標 1

	以内の創業率			
ア	市の物足りないところ、嫌いなところとして「多種多様な働く場がない」と回答した割合	12.2%	8.5%	基本目標 1
ア	駅や大規模商業施設などを中心にしたまちづくりへの満足度	20.5%	25.0%	基本目標 1
ア	工業用地の確保や企業誘致など工業の振興への満足度	16.1%	18.4%	基本目標 1
ア	市の物足りないところ、嫌いなところとして「都市としての個性や特徴がない」と回答した割合	25.6%	23.5%	基本目標 1
イ	地域資源を活用した観光の推進への満足度	14.2%	19.4%	基本目標 2
イ	市外在住者の本市への来訪経験	40.4	52.1	基本目標 2
イ	市外在住者の本市への来訪意向	14.8	20.9	基本目標 2
イ	体を動かし、スポーツ等に親しむ機会・施設への満足度	47.7%	50.2%	基本目標 2
イ	たつのこアリーナ（メインアリーナ）の稼働率	65.0%	77.6%	基本目標 2
イ	たつのこフィールドの稼働率	62.0%	62.6%	基本目標 2
イ	たつのこスタジアムの稼働率	35.0%	38.0%	基本目標 2
イ	芸術や文化に触れ親しむ機	26.9%	29.9%	基本目標 2

	会・施設への満足度			
イ	生きがいづくりや趣味を楽しむ機会・場所への満足度	26.7%	29.8%	基本目標 2
イ	文化財や市民遺産を活用したイベントの件数	3 件	3 件	基本目標 2
イ	駅や大規模商業施設などを中心にしたまちづくりへの満足度	20.5%	25.0%	基本目標 2
イ	市の物足りないところ、嫌いなところとして「活気とにぎわいがない」と回答した割合	26.8%	22.2%	基本目標 2
イ	市の物足りないところ、嫌いなところとして「都市としての個性や特徴がない」と回答した割合	25.6%	23.5%	基本目標 2
イ	龍ヶ崎の魅力を勧める意欲（推奨意欲）＊1	-50.8	-44.4	基本目標 2
イ	龍ヶ崎をよくする活動に参加したい意欲（参画意欲）＊1	-38.6	-32.3	基本目標 2
イ	龍ヶ崎ファンクラブ会員が市を勧める意識（推奨意欲）	39.8%	42.9%	基本目標 2
イ	シティプロモーション活動への満足度	15.4%	18.1%	基本目標 2
イ	市外在住者の本市の認知度	72.2	81.0	基本目標 2
ウ	子育てしやすいまちであると感じる市民の割合（18歳～49歳）	54.3%	60.7%	基本目標 3
ウ	妊娠・出産の支援に対し満足	82.6%	82.6%	基本目標 3

	している市民の割合			
ウ	小学校入学前の子どもたちへの教育内容・施設への満足度（18歳～49歳）	41.5%	43.0%	基本目標 3
ウ	保育所の待機児童数（毎年4月1日現在）	0	0	基本目標 3
ウ	小学校の教育内容・施設への満足度（18歳～49歳）	42.1%	43.8%	基本目標 3
ウ	若者が健全に育つ環境や若者の活動を支援する機会・サービスの満足度（18歳～39歳）	23.8%	29.9%	基本目標 3
ウ	将来の夢や目標を持っている児童（小学生）の割合	78.8%	83.7%	基本目標 3
ウ	将来の夢や目標を持っている生徒（中学生）の割合	69.5%	74.6%	基本目標 3
ウ	龍ヶ崎の魅力を勧める意欲（推奨意欲）（18歳～39歳）＊1	-52.4	-46.0	基本目標 3
ウ	龍ヶ崎をよくする活動に参加したい意欲（参画意欲）（18歳～39歳）＊1	-46.8	-40.6	基本目標 3
ウ	「住み続けたい」と感じる市民の割合（18歳～39歳）	72.3%	76.3%	基本目標 3
エ	お年寄りが生活しやすい施設・サービスへの満足度（65歳～）	27.9%	30.9%	基本目標 4
エ	障がいのある人が生活しやすい施設・サービスへの満足度	15.0%	16.8%	基本目標 4

	度			
エ	地域での支え合いやボランティア活動への満足度	27.6%	29.6%	基本目標 4
エ	生きがいづくりや趣味を楽しむ機会・場所への満足度（65歳～）	29.6%	34.0%	基本目標 4
エ	健康診査などの受けやすさや健康づくりのしやすさへの満足度	52.9%	55.3%	基本目標 4
エ	特定健康診査の受診率（国民健康保険加入者）	23.4%	30.9%	基本目標 4
エ	住民検診におけるがん検診の受診率（5項目平均）	8.7%	10.6%	基本目標 4
エ	幸福感の高い高齢者の割合	46.8%	46.8%	基本目標 4
エ	芸術や文化に触れ親しむ機会・施設への満足度	26.9%	29.9%	基本目標 4
エ	生きがいづくりや趣味を楽しむ機会・場所への満足度	26.7%	29.8%	基本目標 4
エ	文化芸術フェスティバルの延べ来場者数	12,096人	21,993人	基本目標 4
エ	台風や地震など自然災害への対策への満足度	38.8%	40.1%	基本目標 4
エ	災害時応援協定等の締結件数（民間企業・団体など）	47件	53件	基本目標 4
エ	住宅の耐震化率	95.9%	95.9%	基本目標 4
エ	犯罪や非行防止などの治安対策への満足度	32.7%	36.4%	基本目標 4
エ	交通安全対策への満足度	39.1%	41.4%	基本目標 4
エ	消費者問題の相談体制への	12.7%	14.0%	基本目標 4

	満足度			
エ	人口1,000人当たりの交通事故発生件数	1.7件	1.7件	基本目標 4
エ	人口1,000人当たりの刑法犯の認知件数	4.9件	4.9件	基本目標 4
エ	市内の公共交通機関での移動の利便性への満足度	28.0%	31.6%	基本目標 4
エ	都心など市外への公共交通機関での移動の利便性への満足度	35.4%	38.7%	基本目標 4
エ	路上駐車や放置自転車への対策への満足度	33.8%	35.7%	基本目標 4
エ	街並みの美しさへの満足度	51.6%	53.0%	基本目標 4
エ	空家の撤去、活用などの空家対策への満足度	6.9%	9.9%	基本目標 4
エ	適正管理を促した空家等のうち改善された空家の割合	72.4%	72.4%	基本目標 4
エ	空家バンク登録物件の活用件数	6 件	6 件	基本目標 4
エ	再生可能エネルギーの活用など環境負荷低減の取組への満足度	35.0%	36.8%	基本目標 4
エ	ごみ収集サービスや資源リサイクルへの満足度	75.1%	76.8%	基本目標 4
エ	市民一人が1日に出す家庭系ごみの量	661.0g	594.4g	基本目標 4
エ	ごみの総資源化率	13.2%	18.4%	基本目標 4
エ	空気のきれいさや緑の豊かさなどの自然環境への満足	74.4%	78.3%	基本目標 4

	度			
エ	地域をきれいにする活動や 公衆衛生への満足度	57.0%	58.8%	基本目標 4
エ	市の良いところ、好きなところとして「豊かな自然がある」と回答した割合	46.3%	48.5%	基本目標 4
エ	市役所の仕事ぶりへの満足度	38.4%	40.5%	基本目標 4
エ	公共施設の総量最適化について理解している市民の割合	4.4%	5.9%	基本目標 4
エ	公共施設等の現状や課題について関心を持っている市民の割合	53.7%	55.6%	基本目標 4
エ	市税等の収納率	98.2%	98.2%	基本目標 4
エ	経常収支比率	93.2	92.9	基本目標 4
エ	積立金残高比率	34.6	34.8	基本目標 4
エ	基礎的財政収支	黒字	黒字	基本目標 4
エ	実質債務残高比率	181.3	166.9	基本目標 4
エ	社会資本形成の将来世代負担比率	11.6	10.8	基本目標 4
オ	流通経済大学との連携事業や大学生との交流機会の創出への満足度	26.1%	27.8%	横断的な目標 1
オ	龍・流連携事業の認知度	36.6%	39.2%	横断的な目標 1
オ	龍・流連携事業や大学が開催するイベント等へ参加したことがある市民の割合	13.9%	19.3%	横断的な目標 1
オ	男女の平等意識、性の差を感	22.7%	23.4%	横断的な目標 1

	じずに活躍できる環境への満足度			
オ	諸外国や異文化との交流の機会への満足度	12.6%	16.4%	横断的な目標 1
オ	普段から自分の気持ちを分かろうとしてくれる友人がいる児童生徒の割合	81.5%	81.5%	横断的な目標 1
オ	まちづくりに気軽に参加できる機会への満足度	22.4%	23.9%	横断的な目標 1
オ	市民活動への支援や参加できる機会への満足度	23.3%	25.5%	横断的な目標 1
オ	行政サービスの民間委託への満足度	18.5%	20.0%	横断的な目標 1
オ	市役所の仕事ぶりへの満足度	38.4%	40.5%	横断的な目標 1
オ	龍ヶ崎市役所の男性職員の育児休業取得率	100%	100%	横断的な目標 1
オ	龍ヶ崎市役所の女性職員の育児休業取得率	100%	100%	横断的な目標 1
カ	必要とする行政情報が得られていると回答した市民の割合	67.5%	68.4%	横断的な目標 2
カ	SDGs の認知度	31.7%	36.0%	横断的な目標 2
カ	SDGs を生活・行動変容へつなげる意識をいつも持つ市民の割合	7.4%	8.9%	横断的な目標 2
カ	行政手続のオンライン化の件数	83件	150件	横断的な目標 2

*1 NPS（ネット・プロモーター・スコア）

企業や商品・サービスへの「顧客愛着度」を測る指標で、マーケティングの分野における統計データとして活用されているもの。

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

龍ヶ崎市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 龍ヶ崎を支える産業を応援し、安心して働けるまちづくり事業

イ 龍ヶ崎ににぎわいを生み、住みたい・行きたいまちづくり事業

ウ 龍ヶ崎で結婚し、子どもを産み、育てたくなるまちづくり事業

エ 龍ヶ崎に人が集い、安心して暮らせるまちづくり事業

オ 龍ヶ崎で多様な人々が活躍するまちづくり事業

カ 龍ヶ崎で新しい時代の流れを力にするまちづくり事業

② 事業の内容

ア 龍ヶ崎を支える産業を応援し、安心して働けるまちづくり事業

まちの元気を生み出すため、地域経済の活性化と多様な働き方・働く場の創出を図り、活力と雇用を生み出す産業拠点の形成を目指すための事業

【具体的な事業】

- ・ 地域経済の活性化
- ・ 多様な働き方と働く場の創出
- ・ 魅力ある都市拠点の形成 等

イ 龍ヶ崎ににぎわいを生み、住みたい・行きたいまちづくり事業

本市にある豊かな地域資源を活用したにぎわいづくりを行うことと併せて、効果的なシティプロモーションを行い、本市の魅力度や認知度、

そして愛着を向上させ、市内外からヒト・モノ・カネが集まってくること
で活力が生まれ、関係人口創出・定住促進へとつながることで、「住
みたい」「行きたい」まちになることを目指すための事業

【具体的な事業】

- ・ 地域資源を活用した観光まちづくりの推進
- ・ 誰もが楽しめる生涯スポーツ社会の実現
- ・ 暮らしを豊かにする生涯学習・文化芸術活動の推進
- ・ 魅力ある都市拠点の形成
- ・ 機能的な都市インフラと暮らしを支える生活インフラの維持・整備
- ・ 効果的なシティプロモーション 等

ウ 龍ヶ崎で結婚し、子どもを産み、育てたくなるまちづくり事業

結婚から妊娠、出産、子育てまで切れ目なく総合的な支援を行うこと
で、若者が子どもを産み、育てたくなる環境を形成し、かつ、教育環境
の充実や若者世代の活躍支援を行うことにより、一人ひとりの夢や希望
を育み、若者がいつまでも住みたくなるまちを目指すための事業

【具体的な事業】

- ・ 子ども・子育て支援の充実
- ・ 「夢」を持ち「生きる力」を育む教育の推進
- ・ 若者世代の活躍支援と定住促進 等

エ 龍ヶ崎に人が集い、安心して暮らせるまちづくり事業

地域での支え合い、安心・安全の実感、自然環境の保全等を通じて、
誰もが自分らしく、生きがいをもって暮らし続けることができるまちを
目指すための事業

【具体的な事業】

- ・ 支え合う地域福祉の実現
- ・ 健康長寿社会の実現
- ・ 暮らしを豊かにする生涯学習・文化芸術活動の推進
- ・ 防災・減災対策の推進
- ・ 暮らしの安全・安心の確保
- ・ 快適でシームレスな移動環境の構築

- ・良好な住環境の維持・創出
- ・環境負荷の少ない地域社会の形成
- ・自然環境の保全と環境美化の推進
- ・効率的で透明性の高い市政運営
- ・公共施設の「縮充」の推進
- ・持続可能な財政運営 等

オ 龍ヶ崎で多様な人々が活躍するまちづくり事業

多様なステークホルダーと連携し、多様な人々がまちづくりを担うことで、生きがいやシビックプライド意識の醸成・向上を図り、魅力あるまちの形成を目指すための事業

【具体的な事業】

- ・流通経済大学との連携の推進
- ・多様性を認め尊重し合う、共生社会の実現
- ・市民主体のまちづくりの推進
- ・効率的で透明性の高い行政運営 等

カ 龍ヶ崎で新しい時代の流れを力にするまちづくり事業

デジタルトランスフォーメーションやSDGs等、新しい時代の流れをまちづくりに活かし、持続可能で機能的・効率的なまちを目指すための事業

【具体的な事業】

- ・市民主体のまちづくりの推進
- ・SDGsの推進
- ・電子自治体の推進 等

※ なお、詳細は「第2期龍ヶ崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（「龍ヶ崎みらい創造ビジョン for 2030」に包括）のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

3,200,000 千円（2022年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度 11 月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後、速やかに本市公式ホームページ上で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から 2025 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から 2025 年 3 月 31 日まで